

8

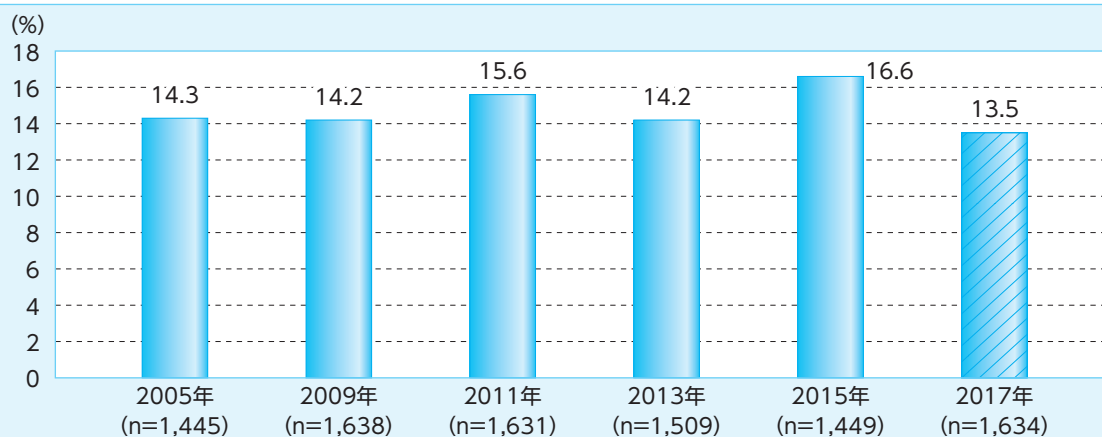
スポーツボランティア

8-1 スポーツボランティア実施状況

12～21歳を対象に、過去1年間に運動・スポーツ活動の手伝いや世話など、スポーツ活動を支えるボランティア活動（スポーツボランティア）を行ったことがあるかをたずねた。図8-1にスポーツボランティア実施率の年次推移を示した。今回の2017年調査で「ある」と回答した者

は全体の13.5%であり、わが国の12～21歳のスポーツボランティア人口は159万人と推計できる。2005年調査からの推移をみると、14%前後で横ばいとなっている。

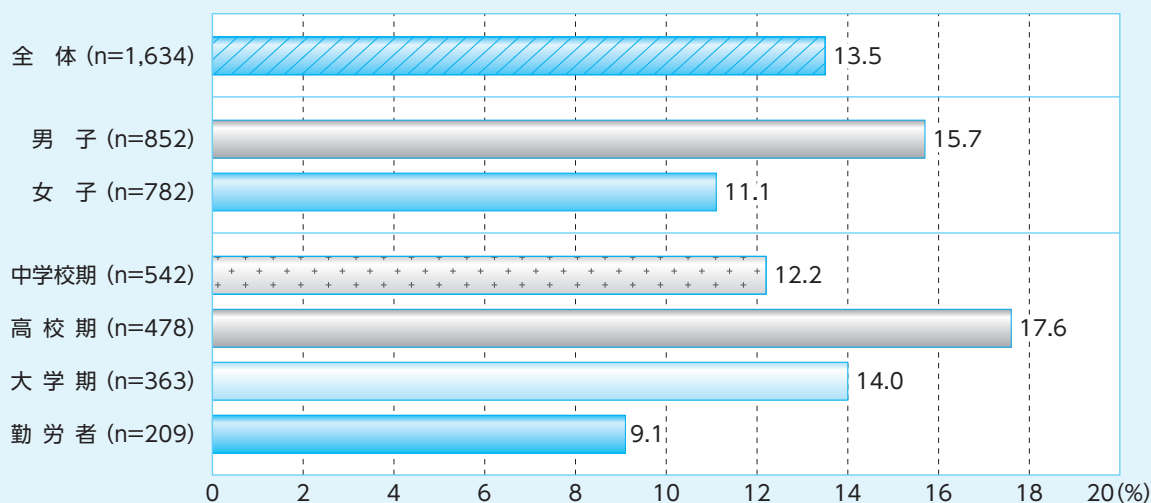
図8-2には性別と学校期別に示した。まず性別にみると「ある」と回答した者の割合は男子が15.7%、女子が



【図8-1】スポーツボランティア実施率の年次推移（12～21歳）

注）2005年～2015年は「10代のスポーツライフに関する調査」の12～19歳を分析対象とした

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2017



【図8-2】スポーツボランティア実施率（12～21歳：全体・性別・学校期別）

資料：笹川スポーツ財団「12～21歳のスポーツライフに関する調査」2017

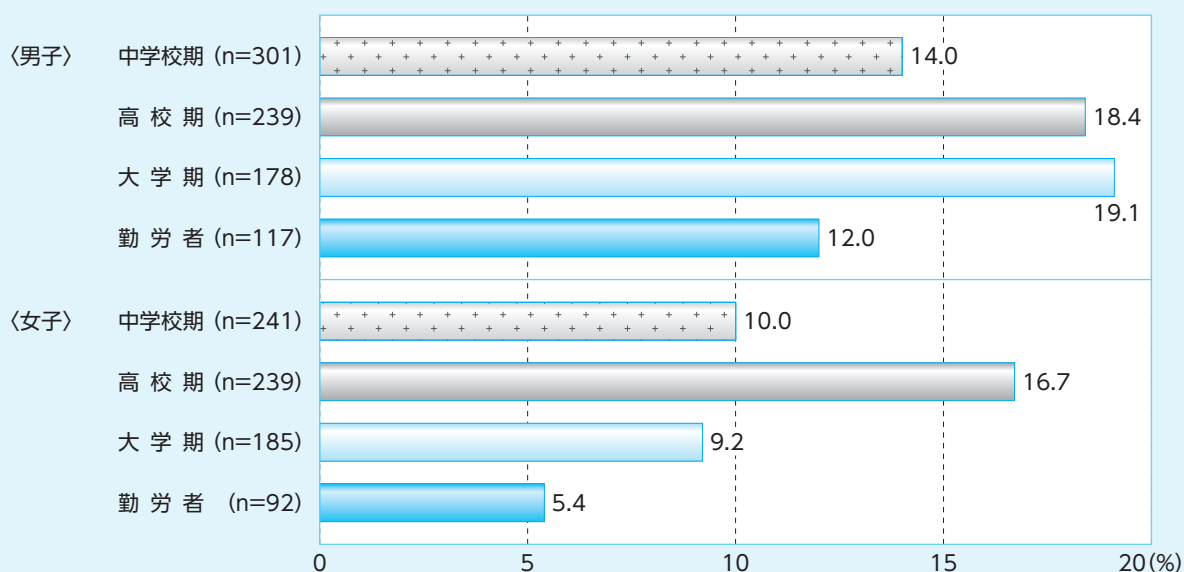
11.1%であり、男子の方がスポーツボランティア実施率は高い。

次に学校期別にみると、スポーツボランティア実施率は高校期で17.6%と最も高く、続いて大学期14.0%、中学校期12.2%、勤労者9.1%であった。

図8-3には、性別・学校期別にスポーツボランティア実施率を示した。男子は大学期が19.1%と最も実施率が高く、次いで高校期18.4%、中学校期14.0%、勤労者

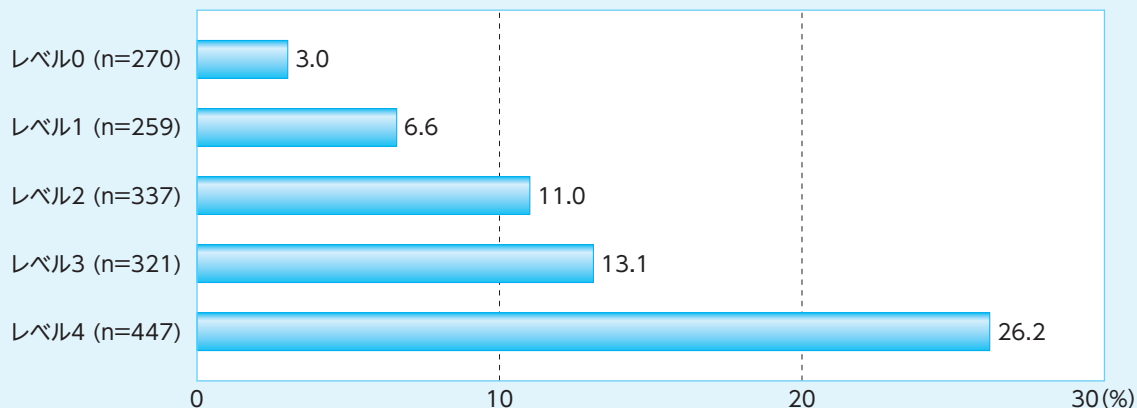
12.0%であった。女子では、高校期の実施率が16.7%と最も高く、中学校期10.0%、大学期9.2%、勤労者5.4%と続いた。男女で比較すると大学期では9.9ポイント、勤労者では6.6ポイントの差がみられた。

図8-4に示す運動・スポーツ実施レベル別にみると、「レベル0」3.0%、「レベル1」6.6%、「レベル2」11.0%、「レベル3」13.1%、「レベル4」26.2%と、レベルが上がるにつれてスポーツボランティア実施率も高くなる。



【図8-3】スポーツボランティア実施率(12~21歳:性別×学校期別)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017



【図8-4】スポーツボランティア実施率(12~21歳:レベル別)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017

8-2 スポーツボランティアの内容

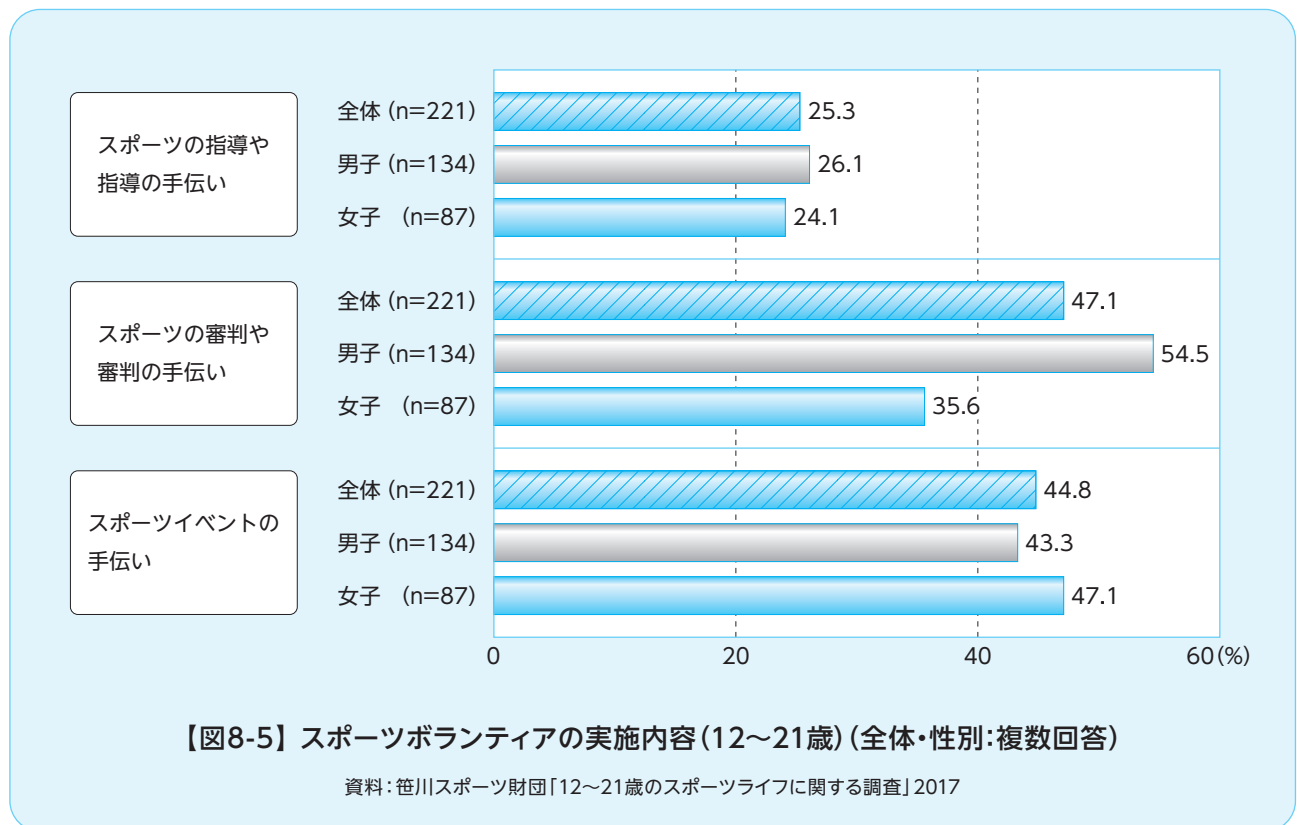
過去1年間にスポーツボランティアを行ったことが「ある」と回答した者を対象に、その具体的な内容を複数回答でたずねた。図8-5に示す全体をみると「スポーツの審判や審判の手伝い」（以下、「審判」）が47.1%で最も高く、次いで「スポーツイベントの手伝い」（以下、「イベント」）44.8%、「スポーツの指導や指導の手伝い」（以下、「指導」）25.3%であった。

性別にみると、「審判」と「指導」は男子が高く、「イベント」は女子が高い。

表8-1には、学校期別とレベル別にスポーツボランティアの実施内容を示した。学校期別にみると、「指導」は勤

労者が57.9%で最も高く、続いて大学期が31.4%と続く。「審判」は中学校期57.6%、高校期48.8%と高く、「イベント」は中学校期、高校期、大学期で45%以上となるなど、学校期による実施内容の特徴がみられる。

運動・スポーツ実施レベル別にみると、「指導」は「レベル1」の実施率が35.3%で最も高い。「審判」は「レベル2」から「レベル4」まで、レベルが上がるにつれて実施率が高くなっている。「イベント」は「レベル0」の実施率が37.5%で低く、「レベル1」から「レベル4」ではほぼ同水準であった。



【表8-1】スポーツボランティアの実施内容(12~21歳)(学校期別・レベル別:複数回答)

内 容	学校期別・レベル別 (%)								
	中学校期 (n=66)	高校期 (n=84)	大学期 (n=51)	勤労者 (n=19)	レベル0 (n=8)	レベル1 (n=17)	レベル2 (n=37)	レベル3 (n=42)	レベル4 (n=117)
スポーツの指導や指導の手伝い	21.2	16.7	31.4	57.9	12.5	35.3	24.3	31.0	23.1
スポーツの審判や審判の手伝い	57.6	48.8	35.3	36.8	25.0	35.3	32.4	45.2	55.6
スポーツイベントの手伝い	45.5	50.0	47.1	15.8	37.5	47.1	43.2	47.6	44.4

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017

8-3 スポーツボランティアのきっかけ

過去1年間にスポーツボランティアを行ったことが「ある」と回答した者を対象に、実施のきっかけをたずねた。表8-2に示す全体をみると「先生や指導者に言われたから」が64.7%で最も高かった。次いで「自分でやりたいと思ったから」24.9%、「友だちに誘われたから」12.7%となっている。

性別にみると、「先生や指導者に言われたから」は男子67.2%、女子60.9%で男子の方が高く、「自分でやりたいと思ったから」は男子24.6%、女子25.3%でわずかに女子が高い。「友だちに誘われたから」は男子12.7%、女子12.6%で大きな差はみられなかった。

【表8-2】スポーツボランティアのきっかけ(12~21歳:全体・性別)

内 容	(%)		
	全 体 (n=221)	男 子 (n=134)	女 子 (n=87)
先生や指導者に言われたから	64.7	67.2	60.9
家族に言われたから	3.6	3.7	3.4
自分でやりたいと思ったから	24.9	24.6	25.3
友だちに誘われたから	12.7	12.7	12.6
覚えていない	5.4	6.7	3.4

資料：笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017

8-4 スポーツボランティアに伴う楽しさ

過去1年間にスポーツボランティアを行ったことが「ある」と回答した者を対象に、実施した活動は楽しかったかどうかをたずねた。図8-6に示す全体をみると、「楽しかった」46.6%、「どちらかという楽しかった」45.2%と、これらの割合を合わせた『楽しかった』の割合は9割を超えている。

性別にみると、「楽しかった」と回答した者は、男子に比べて女子の方が12.2ポイント高い。

学校期別では大学期と勤労者で「楽しかった」と回答した者が5割を超えている。特に、大学期では「どちらかという楽しかった」「楽しかった」の割合が他の学校期と比較して低い。

図8-7には、レベル別の結果を示した。「楽しかった」と回答した者が最も多いのは「レベル2」64.9%であり、次いで「レベル1」64.7%、「レベル0」62.5%であった。

8-5 スポーツボランティアの実施希望

今後、スポーツボランティアをやってみたい、または続けたいと思うかをたずねた。図8-8に示す全体をみると「非常にそう思う」9.4%、「ややそう思う」32.6%、「あまりそう思わない」30.4%、「まったくそう思わない」13.8%、

「わからない」13.8%であった。『そう思う』（「非常にそう思う」+「ややそう思う」）の割合は42.0%と、4割以上の青少年がスポーツボランティアの実施を希望している。

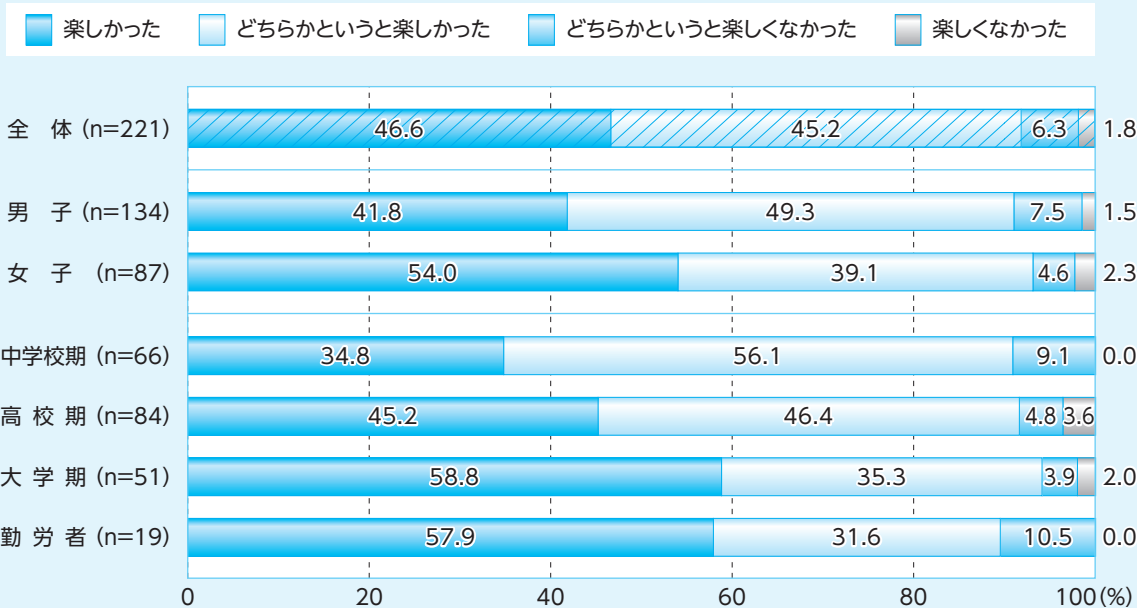
性別にみると、男子は「非常にそう思う」8.0%、「やや

そう思う」31.0%、女子は「非常にそう思う」10.9%、「ややそう思う」34.3%であり、女子が男子をわずかに上回る。

学校期別にみると、中学校期が「非常にそう思う」10.9%、「ややそう思う」36.6%と最も高く、次いで高校期、大学期、勤労者であった。

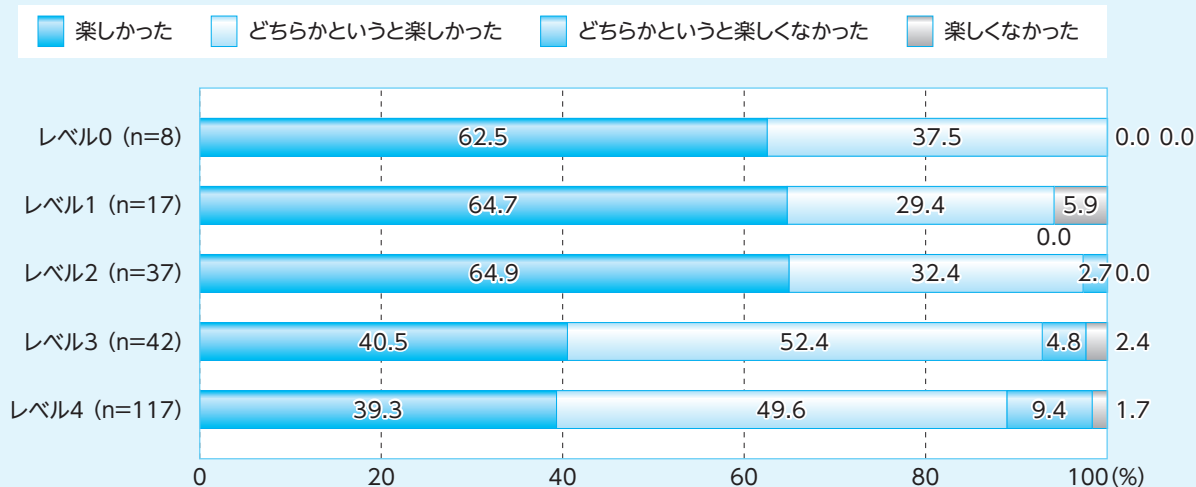
図8-9には、レベル別にスポーツボランティアの実施希

望率を示した。「レベル0」21.1%、「レベル1」30.6%、「レベル2」44.2%、「レベル3」46.9%、「レベル4」55.8%と、レベルが上がるにつれて実施希望率も増加する。特に、「レベル4」では半数以上がスポーツボランティアの実施を希望しており、積極的に運動・スポーツを行っている者ほどスポーツボランティアへの関心も高い。



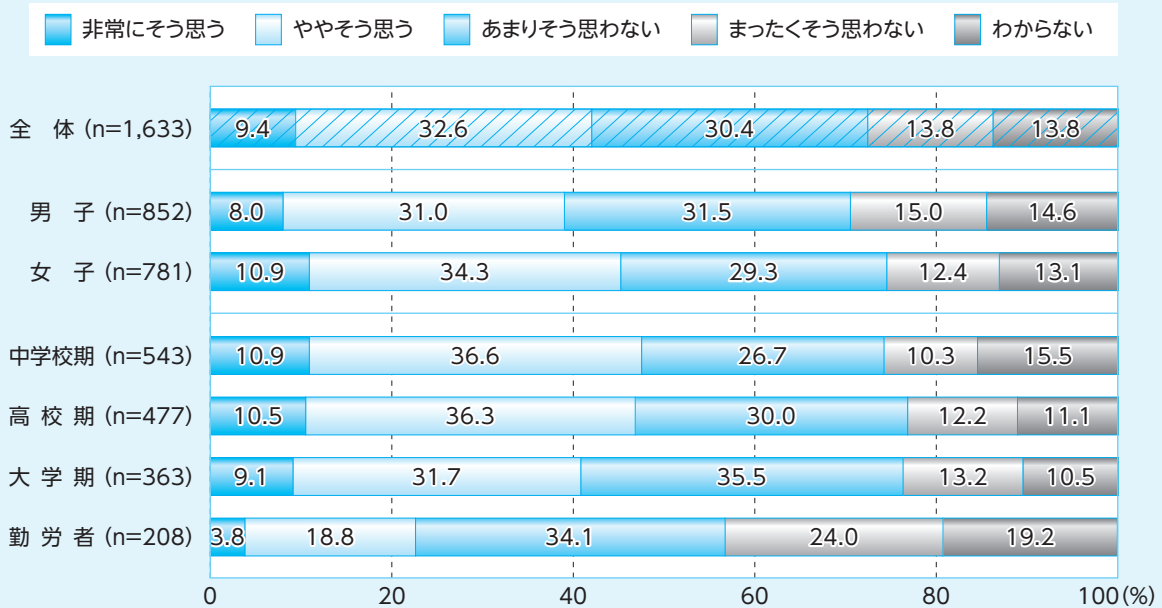
【図8-6】スポーツボランティアに伴う楽しさ(12~21歳:全体・性別・学校期別)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017



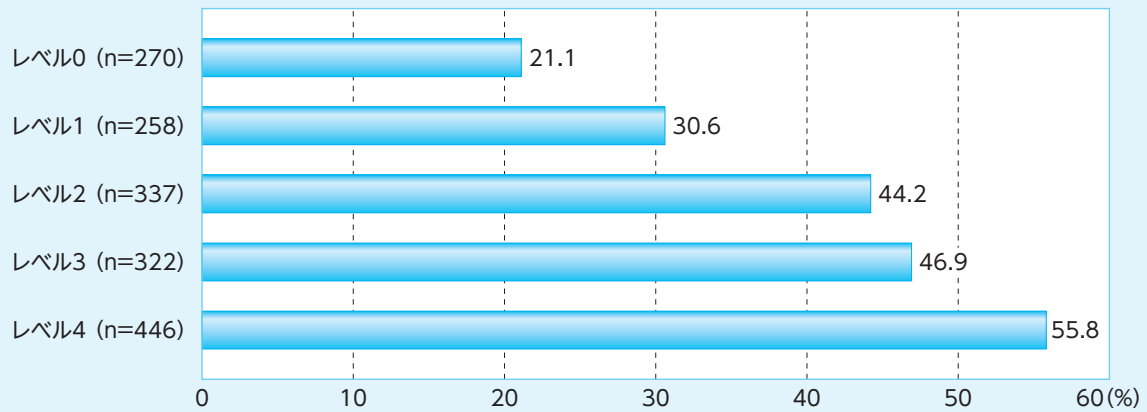
【図8-7】スポーツボランティアに伴う楽しさ(12~21歳:レベル別)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017



【図8-8】スポーツボランティア実施希望率(12~21歳:全体・性別・学校期別)

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017



【図8-9】スポーツボランティア実施希望率(12~21歳:レベル別)

注) 今後、スポーツボランティアをやってみたい、または続けたいと思うかに対する回答
「非常にそう思う」および「ややそう思う」を合計した割合

資料: 笹川スポーツ財団「12~21歳のスポーツライフに関する調査」2017